

ポスター発表(学生会員)

26日 コアタイム:奇数番号 13:00~14:00, 偶数番号 14:00~15:00

27日 コアタイム:奇数偶数ともに 13:00~14:00 (ポスター賞授賞式 13.30~)

PS001	ハムシ科は脚で葉表面の味を認識する一形態・電気生理応答・行動解析から終に明らかに!? ○与謝野 舜・響田 康彦・増田 秀平・松田 一寛・堀 雅敏(東北大院農)
PS002	ウリ科植物のクチクラワックスとウリハムシの寄主選択 ○鎌田 一徹・乾 陽子(大阪教育大学)
PS003	ダイミョウセリ雄成虫がもつ性特異的な香気成分 ○齊藤 航介 ¹ ・太田 伸二 ² ・大村 尚 ² (広島大・生物生産 ¹ ・広島大・院・生物圏 ²)
PS004	Difference in cuticular hydrocarbons among generations in the eriosomatine aphid, <i>Prociphilus oriens</i> ○Tong Xin・Takata Yusuke・Akimoto Shin-ichi(北大 農)
PS005	アカヒゲホソミドリカスミカメに対するイネ穂香気の誘引性は1日の中で変化するか?—イネ穂香気成分の日内変化とそれに伴う誘引性の変化— ○今野 萌子・一戸 清香・堀 雅敏(東北大学院農)
PS006	ゴマダラカミキリ草本発生個体の配偶定位における寄主植物成分利用 ○草木 昇・深谷 緑・岩田 隆太郎(日大・生物資源)
PS007	チャノコカクモンハマキの風洞内定位飛翔における床パターンの影響 ○宮本 隆典 ¹ ・田端 純 ² ・戒能 洋一 ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・農研機構 ²)
PS008	日本産クサアリ亜属の抗菌性における種間差 ○大前 勝利 ¹ ・乾 陽子 ¹ ・秋野 順治 ² (大阪教育大学 ¹ ・京都工芸繊維大学 ²)
PS009	ゴマシジミ幼虫と寄主アリの体表炭化水素の類似性 ○李 俊男 ¹ ・乾 陽子 ¹ ・上田 昇平 ² (大阪教育大学 ¹ ・大阪府立大学 ²)
PS010	昆虫寄生菌 <i>Lecanicillium</i> spp. が2種コナジラミ卵の孵化および孵化幼虫に与える影響 ○石倉 鈴風・松崎 優 ¹ ・小池 正徳・相内 大吾(帯畜大 環境微生物)
PS011	山間部および平野部位置する有機農業水田における昆虫相およびクモ相 ○井手 脩人・村田 浩平・阿部 淳(東海大・農)
PS012	阿蘇地域における伝統的な雑穀混作圃場の節足動物相 ○古賀 存・村田 浩平・松浦 朝奈(東海大・農)
PS013	チャ圃場での殺虫剤少量散布によるクモ類温存効果 ○鶴 祐大朗 ¹ ・坂巻 祥孝 ² ・津田 勝男 ¹ ・鹿子木 聡 ² (鹿児島大学 ¹ ・鹿児島農総七茶業 ²)
PS014	茶圃場における殺虫剤少量散布による天敵類の温存効果—クワシロカイガラムシとその天敵の発生消長— ○河内 雅弘 ¹ ・坂巻 祥孝 ² ・津田 勝男 ¹ ・鹿子木 聡 ² (鹿児島大学 ¹ ・鹿児島県農業開発総合センター茶業部 ²)
PS015	トビイロウンカ圃場抵抗性を保有するIR64の抵抗性遺伝子座の解析 ○生駒 樹史 ^{1,2} ・服部 誠 ³ ・山本 敏央 ² ・福岡 修一 ² ・畠山 吉則 ¹ ・田村 泰盛 ² (日大生物資源 ¹ ・農研機構 ² ・元生物研 ³)
PS016	卵寄生蜂ニホンタマゴクロバチの寄主種間における発育特性の差異 ○丸鬼 奈紀 ¹ ・古野 雅弘 ² ・糸山 享 ^{1,2} (明治大院・農 ¹ ・明治大・農 ²)
PS017	ノコギリヒラタムシ菌細胞共生細菌の同定および機能解析 ○廣田 敏 ¹ ・奥出 結太 ¹ ・安佛 尚志 ² ・二橋 亮 ² ・森山 実 ² ・孟 憲英 ² ・二河 成男 ³ ・古賀 隆一 ² ・深津 武馬 ² (東大 ¹ ・産総研 ² ・放送大学 ³)
PS018	2種のキチノウ・2系統の <i>Wolbachia</i> —その感染史を紐解く— ○宮田 真衣 ¹ ・野村 昌史 ¹ ・陰山 大輔 ² (千葉大院 園芸 ¹ ・農研機構 ²)
PS019	チャハマキに感染する <i>Wolbachia</i> とその感染密度が宿主性比に与える影響 ○新井 大 ¹ ・Shiou-Ruei Lin ² ・仲井 まどか ³ ・国見 裕久 ¹ ・井上 真紀 ¹ (農工大・農 ¹ ・台湾茶業改良所 ²)
PS020	チャハマキに後期オス殺しを引き起こすRNA様ウイルス因子の感染と表現型の関係及び野外での保有率調査 ○西野 真由 ¹ ・藤田 龍介 ² ・仲井 まどか ³ ・国見 裕久 ³ ・井上 真紀 ³ (農工大・農 ¹ ・北大・創成 ² ・農工大・農 ³)
PS021	複数種の細菌と同時共生しているカメムシはなぜ少ないのか ○今西 萌美 ¹ ・西出 雄大 ² ・細川 貴弘 ³ (九大院・シス生 ¹ ・農研機構・生物機能 ² ・九大・理 ³)
PS022	チャバナアオカメムシの共生細菌になれる環境細菌となれない環境細菌の違い ○渡邊 修人 ¹ ・深津 武馬 ² ・細川 貴弘 ¹ (九大・理 ¹ ・産総研 ²)
PS023	ノコギリカメムシの後脚共生器官で発現変動している遺伝子の解析 ○西野 貴騎 ^{1,2} ・細川 貴弘 ³ ・棚橋 薫彦 ⁵ ・向井 裕美 ⁴ ・立川 周二 ⁶ ・深津 武馬 ^{2,1} (筑波大 ¹ ・産総研 ² ・九大 ³ ・森林総研 ⁴ ・台湾交通大 ⁵ ・自然環境復元協会 ⁶)
PS024	糞虫便乗線虫の生殖様式と宿主嗜好性との関係 ○小池 悠斗 ¹ ・新屋 良治 ² ・相川 拓也 ³ ・長谷川 浩一 ¹ (中部大学応用生物 ¹ ・明治大学農学 ² ・森林総研東北 ³)
PS025	ナミアメンボ及びヒメアメンボの高温麻痺温度における季節変動 河上 真弥 ¹ ・清水 明日香 ¹ ・藤田 大輝 ¹ ・古木 隆寛 ¹ ・中城 満 ² ・原田 哲夫 ¹ (高知大・教・環境生理 ¹ ・高知大・教・理科教育 ²)
PS026	ニホンミツバチによる非蜜源植物であるレタスへの飛来行動 ○田中 千聡 ¹ ・日下 石 碧 ² ・横井 智之 ² (筑波大・生物学類 ¹ ・筑波大・院・保全生態 ²)
PS027	テナガショウジョウバエの交尾受容性をつかさどる遺伝子のマッピング ○等 百合佳 ¹ ・内山 博允 ² ・足達 太郎 ² ・石川 幸男 ¹ ・松尾 隆嗣 ¹ (東大農 ¹ ・東京農大 ²)
PS028	飢餓状態におけるテナガショウジョウバエの交尾活性の変動 ○安藤 優樹・石川 幸男・松尾 隆嗣(東大・農)
PS029	トラッキング画像処理を用いたテナガショウジョウバエのなわばり行動解析 ○吉水 敏城・石川 幸男・松尾 隆嗣(東大・農)
PS030	コクヌストモドキの死にまね行動に地理的変異はあるか? ○松村 健太郎・宮竹 貴久(岡山大院・環境生命)
PS031	砂の含水率がウスバカゲロウ幼虫の巣穴形成に及ぼす影響 ○深田 雄也・西村 知良(日大生物資源)
PS032	ヤマトシリアゲが採用する交尾戦略に与える左右対称性および体サイズの影響 ○石原 凌・宮竹 貴久(岡山大学・環境生命)
PS033	ギルド内被食者による卵の保護に血縁認識が果たす役割 ○齋藤 史明・長 泰行(千葉大院 応用昆虫)
PS034	アリは更生するのか? 利己的行動の再発現抑制に対する懲罰効果の検証 ○篠田 梨奈 ¹ ・辻 和希 ² ・菊地 友則 ¹ (千葉大・融合理工 ¹ ・琉球大・農 ²)
PS035	コメグラサンガメは動かない餌にも反応するのか? ○朝倉 雅也・宮竹 貴久(岡山大学農学部)

PS036	キタキチョウにおけるメスの越冬前交尾の意義:栄養説の検討 ○小長谷 達郎・沼田 英治 (京大・院・理)
PS037	昆虫誘引に及ぼす色の違いと紫外線吸収の影響 ○太田 樹・上船 雅義・山岸 健三 (名城大農昆虫研)
PS038	ミツボシツチカメムシの給餌は将来の繁殖にコストとなるのか? ○側垣 共生 ¹ ・杉崎 巧一郎 ² ・松岡 宏樹 ² ・工藤 慎一 ³ ・野間川 真太郎 ² (佐賀大院・農 ¹ ・佐賀大・農 ² ・鳴門教育大院・学校教育 ³)
PS039	シロアリにおけるワーカーの齢階分類 ○大井 涼太郎・松浦 健二 (京大院・農・昆虫生態)
PS040	シロアリの幼虫集合フェロモンの存在を実証 ○堀場 菜摘・松浦 健二 (京大・農・昆虫生態)
PS041	シュワルトマンザイシロアリの擬職蟻による過剰な生殖虫の排除 ○鈴木 征敏・松浦 健二・土畑 重人 (京大院・農・昆虫生態)
PS042	Genetic population structure of the fungus-growing termite in Laos ○Nguyen Ngoc Thanh Tam・Tomoko Okamoto・Koji Tsuchida (Gifu University)
PS043	ミツバチ雄における幼若ホルモンによるドーパミン・オクトパミン合成酵素遺伝子発現への影響 ○渡邊 智大・佐々木 謙 (玉川大・農)
PS044	真社会性ハチ類のワーカーによる雄生産 ○西村 正和・松山 日名子・小野 正人 (玉川大・院・農)
PS045	産雌性単為生殖種キイロヒメアリの繁殖スケジュール ○井戸川 直人・土畑 重人 (京大院・農・昆虫生態)
PS046	アルゼンチンアリスーパーコロニー間に生じる食性および栄養段階の変異 ○瀬古 祐吾・澤島 拓夫・早坂 大亮 (近畿大・院・環境管理)
PS047	トビイロケアリ新女王におけるコロニー発達に対する照度の影響 ○黒木 出・大槻 達也・中村 圭司 (岡山理大 生地)
PS048	季節タイマーが切れたエンドウヒゲナガアブラムシは春に両性生殖型を産む ○松田 直樹 ¹ ・神戸 崇 ² ・秋元 信一 ² ・沼田 英治 ¹ (京大・院理 ¹ ・北大・院農 ²)
PS049	ワサビクダアザミウマの静岡県下での発生状況および发育速度 ○萩原 優花 ¹ ・西島 卓也 ² ・松田 健太郎 ³ ・杉山 泰昭 ⁴ ・笠井 敦 ¹ (静岡大・農 ¹ ・静岡県伊豆農業研究センター ² ・静岡県病害虫防除所 ³ ・静岡県中部農林事務所 ⁴)
PS050	ミカントゲコナジラミとチャトゲコナジラミの生活史パラメータの比較 ○蔵之内 俊也 ¹ ・屋良 佳緒利 ² ・笠井 敦 ¹ (静岡大・農・応用昆虫 ¹ ・農研機構・果樹茶 ²)
PS051	モリチャバネゴキブリ <i>Blattella nipponica</i> の各温度における发育速度について ○松本 絳輝・泉 洋平 (島根大 生物資源)
PS052	アマミナフシの分布北上と本州での定着可能性について ○惣川 峻・高尾 今日子・中村 圭司 (岡山理大 生地)
PS053	草食性コガネムシにおける近縁種間のギルド内捕食:アオドウガネが増え、在来コガネムシが減った理由にせまる ○福谷 愉海・笠井 敦 (静岡大・農・応用昆虫)
PS054	オキナワノコギリクワガタ野外個体群における性選択の測定 ○保田 真輝・辻 和希・立田 晴記 (琉球大・農)
PS055	ブナ科植物における花外蜜腺の確認:アラカシ上での形成時期と形成場所および蜜腺利用アリ相 ○中林 ゆい ¹ ・安達 修平 ² ・徳田 誠 ¹ (佐賀大・農 ¹ ・鹿大院・連合農学 ²)
PS056	アルゼンチンアリと在来アリとのヤマモモ樹木利用の違い ○藤田 昂大・澤島 拓夫 (近畿大学院農学研究科環境管理学専攻)
PS057	クロクサアリの異なる共生型アブラムシ種に対する攻撃性の違い ○山本 哲也 ¹ ・乾 陽子 ² ・服部 充 ³ ・市野 隆雄 ⁴ (信大院・総合工 ¹ ・大教大・教育 ² ・長大院・水産 ³ ・信大・理・山岳研 ⁴)
PS058	竹筒トラップによる高知大学物部キャンパス内の管住性ハチ相の解明 ○西山 泰裕・伊藤 桂 (高知大・農)
PS059	オオイヌタデの防御形質二型の維持にイチゴハムシはどのように関わっているか ○松田 浩輝・徳田 誠 (佐賀大・農)
PS060	貯穀害虫における触角節数の集団内多型とその維持機構 ○福田 一人・津田 みどり (九大・農・生防研)
PS061	Interspecific interaction in two species of fresh water snails, apple snails and mud snails ○Kesima Bening Pagi・Andreas H Kurniawan・Satoru Sato (山形大学)
PS062	Effects of presence and body size of <i>Pomacea canaliculata</i> on survival and fecundity of <i>Physa acuta</i> ○Nabilaputri Niken・Andreas Hendrapipta・Satoru Sato (山形大学)
PS063	天敵誘引光がもたらす圃場の生物相変化 ○荻野 拓海 ^{1,2} ・上原 拓也 ² ・山口 照美 ² ・市橋 隆壽 ³ ・鈴木 孝洋 ³ ・戒能 洋一 ¹ ・霜田 政美 ² (筑波大学生命環境 ¹ ・農研機構生物機能 ² ・シグレイ ³)
PS064	昆虫病原性線虫 <i>Heterorhabditis bacteriophora</i> のゴキブリに対する殺虫活性 ○澤之向 大希 ¹ ・浜口 昂大 ¹ ・小澤 壮太 ¹ ・佐藤 一輝 ² ・長谷川 浩一 ¹ (中部大学 ¹ ・理研CSRS ²)
PS065	新規な生物的防除資材探索に向けたハナレメイバエ (ハエ目:イェバエ科)の分類と生態 ○相良 一輝 ¹ ・館 卓司 ² ・田口 大輔 ¹ ・阿部 芳久 ² (九大院・地社 ¹ ・九大院・比文 ²)
PS066	糸状菌をナミテントウに積載することによる相乗的な害虫防除効果の評価 ○板橋 聖大・清水 敏夫 (千葉県立農業大学校)
PS067	ホソヘリカメムシにおける <i>Krüppel homolog 1</i> 遺伝子の発現と機能:光周性に注目して ○董 笠・伊藤 千紜・宇高 寛子・沼田 英治 (京大・院理)
PS068	ホソヘリカメムシの産卵と胚発生における幼若ホルモン受容体の機能解析 ○成瀬 祥矢・三浦 健・水口 智江可 (名古屋大院・生命農学)
PS069	ホソヘリカメムシの卵巣発達と脂質蓄積量の光周反応を制御する内分泌経路 ○間野 玄雄・後藤 慎介 (大阪市大・院理)
PS070	チャバネアオカメムシ卵殻タンパク質の性状 ○岩鼻 優・小林 秀昭 (帝京平成大学・薬学部)
PS071	ナンキョクユスリカの卵と幼虫における温度反応 ○吉田 美月 ¹ ・David L. Denlinger ² ・Richard E. Lee ³ ・後藤 慎介 ⁴ (大阪市大・理 ¹ ・Ohio State University ² ・Miami University ³ ・大阪市大・都市環境におけるニクバエの光周反応)
PS072	都市環境におけるニクバエの光周反応 ○向井 歩 ¹ ・山口 幸紀 ¹ ・北村 文 ² ・後藤 慎介 ¹ (大阪市大・院理 ¹ ・大阪市大・理 ²)

PS073	食料性カミキリにおける消化管内セルロース分解の可視化 ○長峯 啓佑・北山 雅典・田中 航輝・菅野 善明・新谷 喜紀(南九州大・環境園芸)
PS074	アワヨトウの包圍化促進レクチン遺伝子の発現解析 ○松元 咲樹・古川 誠一(筑波大・生命環境)
PS075	異物のメラニン化に関わるhyperspread cellの産生について ○松谷 広志 ¹ ・奥村 雄暉 ² ・加藤 良晃 ³ ・田中 利治 ⁴ ・中松 豊 ^{1,2} (皇學館大院・教育 ¹ ・皇學館大・教育 ² ・BASF ³ ・名大・農国セ ⁴)
PS076	カイコ抗微生物ペプチド遺伝子発現における <i>Wolbachia</i> 感染の影響 ○佟 曉菲 ¹ ・佐々木 哲彦 ² ・古川 誠一 ³ (筑波大・生資 ¹ ・玉川大・ミツバチ科学 ² ・筑波大・生命環境 ³)
PS077	善養寺影向のマツにおける害虫の発生実態 ○阿部 貴也 ¹ ・多々良 明夫 ¹ ・廣岡 裕吏 ¹ ・鈴木 俊之 ¹ ・堀江 博道 ² ・武井 円 ¹ ・樋口 政則 ³ ・藤崎 幸子 ³ (法政大生命科学 ¹ ・法政大植物医科セ ² ・江戸川区教育 ³)
PS078	ナミハダニが吸汁可能な粒子のサイズ ○山川 颯太・鈴木 文詞(東京農工大院 BASE)
PS079	フェンプロパトリンの部分構造に対するナミハダニの定位行動 ○笹屋 一大・山本 雅信・鈴木 文詞(農工大BASE)
PS080	シソサビダニの移動分散要因 ○長谷川 勇介・多々良 明夫・上遠野 富士夫・鍵和田 聡(法政大学生命科学)
PS081	マダニの卵黄形成に対するTOR経路の阻害による影響 ○齋田 圭一 ¹ ・荻原 麻理 ² ・手島 悠之 ¹ ・Taylor DeMar ¹ (筑波大・生命環境 ¹ ・東大・新領域 ²)
PS082	マダニの栄養経路(TOR)因子及び卵黄形成制御機構の解明 ○中武 彰子 ¹ ・Taylor DeMar ¹ ・Corneila Wagner ¹ ・荻原 麻理 ² (筑波大学・生命環境 ¹ ・東京大学・新領域 ²)
PS083	クモ類の波長に対するERG信号と誘引行動の評価 ○川上 雄嗣 ¹ ・徐 微微 ¹ ・釜野 勝 ¹ ・香西 貴典 ¹ ・藤原 健志 ¹ ・小西 智也 ¹ ・鎌田 隼 ² ・上原 信知 ³ (国立高専機構阿南高専 ¹ ・徳島大学 ² ・国立高専機構本部事務局 ³)
PS084	オオヒラタザトウムシ2亜種の地理的分化に関する研究 ○加藤 貴範・土田 浩治・岡本 朋子(岐阜大学・昆虫生態学)
PS085	分子擬態一似せて騙す線虫の寄生戦略 ○桐野 巴瑠 ¹ ・吉本 光希 ¹ ・新屋 良治 ^{1,2} (明治大学農学部 ¹ ・JSTさきがけ ²)
PS086	転写因子 <i>tra-1</i> は <i>Bursaphelenchus</i> 属線虫の体細胞と生殖細胞の性を決定する ○深山 敦司 ¹ ・新屋 良治 ^{1,2} (明治大学農学部 ¹ ・JSTさきがけ ²)
PS087	線虫 <i>Caenorhabditis elegans</i> の揮発性フェロモン ○佐川 茉莉花 ¹ ・Matthew Gronquist ² ・Paul Sternberg ³ ・新屋 良治 ^{1,4} (明治大学農学部 ¹ ・SUNY Fredonia ² ・Caltech ³ ・JSTさきがけ ⁴)
PS088	マリナーゴールド分泌物質α-terthienylは線虫下皮に浸透して酸化ストレスを誘導する ○浜口 昂大・長谷川 浩一(中部大学)
PS089	水田環境において農業散布がトンボ群集に与える直接・間接的な影響 ○橋本 洗哉 ¹ ・江口 優志 ² ・早坂 大亮 ² (京大生態研センター ¹ ・近大農学部 ²)
PS090	チャノコクモムシハマキ核多角体ウイルス抵抗性系統の抵抗性機構の発達様式調査 ○立澤 杜泰・仲井 まどか・井上 真紀(東京農工大院・農)
PS091	菌食性線虫 <i>Bursaphelenchus okinawaensis</i> における生殖様式の可塑性 ○藤森 友太 ¹ ・新屋 良治 ² (明治大学農学部 ¹ ・JSTさきがけ ²)
PS092	愛知県産アズキノメイガにおける遺伝的要因による性比異常現象 ○濱中 陽子・嶋田 透・勝間 進(東大院・農)
PS093	<i>Bacillus thuringiensis</i> からの抗菌性タンパク質の探索 ○高橋 萌会・畠山 吉則・三輪 哲・小山内 春陽・井村 祐二・生駒 樹央・荒井 怜奈・山本 裕一・岩野 秀俊(日大生物資源応用研)
PS094	昆虫感染性微生物を用いた農業害虫ハスモンヨトウの飛来源推定 ○井村 祐二・畠山 吉則・生駒 樹央・荒井 怜奈・高橋 萌会・山本 裕一・岩野 秀俊(日大生物資源応用研)
PS095	山口産ハスモンヨトウより分離された <i>Vavraia</i> 属微生物の生育環境の観察 ○荒井 怜奈・畠山 吉則・中村 春花・生駒 樹央・井村 祐二・高橋 萌会・瀧 由加里・山本 裕一・岩野 秀俊(日大生物資源応用研)
PS096	<i>Beauveria bassiana</i> s.l.の二次代謝産物がハマダラカの生存へ与える影響 ○松崎 優 ¹ ・小池 正徳 ¹ ・嘉藤 洋陸 ² ・相内 大吾 ¹ (帯畜大 環境微生物 ¹ ・慈恵医科大 熱帯医学 ²)
PS097	マイマイガ核多角体病ウイルスの異なる宿主系統への病理学的特性の差異 ○芳賀 友里・仲井 まどか・国見 裕久・井上 真紀(農工大・農)
PS098	発現タンパク質とPO活性の比較を通じたアスコウイルスの殺虫時間決定に影響する要因の探索 ○石井 宏貴・井上 真紀・仲井 まどか(農工大・農)
PS099	LAMP法を用いたミツバチおよびミツバチ病原微生物の検出手法の開発 ○新村 友理 ¹ ・近野 真央 ² ・中川 郁美 ² ・前田 美都 ² ・高橋 純一 ² (京産大院・生命科学 ¹ ・京産大・総合生命 ²)
PS100	コクヌストモドキ 昆虫病原系状菌相関での感染進行に伴う両者の遺伝子発現変動 ○澤田 光希・志賀 正太郎・Patchara Sirasoonthorn・関 公貴・神谷 克己・水口 智江可・三浦 健(名大院・生命農・害虫制御学)
PS101	Cuticular protein genes and antifungal host defense of <i>Tribolium castaneum</i> ○Patchara Sirasoonthorn・Shiga Shotaro・Sawada Mitsuki・Seki Masaki・Hayakawa Yuuki・Minakuchi Chieka・Miura Ken (Nagoya Univ. Appl. Entomol.)
PS102	ネオニコチノイド系殺虫剤がコクヌストモドキの免疫応答に及ぼす影響 ○関 公貴・志賀 正太郎・澤田 光希・Patchara Sirasoonthorn・神谷 克己・水口 智江可・三浦 健(名大院・生命農・害虫制御学)
PS103	コクヌストモドキ新規SOD遺伝子の機能解析 ○西子 まあや・岩淵 喜久男・天竺桂 弘子(東京農工大学)
PS104	オオツノコクヌストモドキにおいてヒストン修飾因子が武器形質に与える影響 ○大塚 宏樹 ¹ ・新政隆 ² ・小澤 高嶺 ² ・太田 邦史 ² ・新美 輝幸 ³ ・岡田 泰和 ² (東大院・理学系 ¹ ・東大院・広域システム ² ・基生研・進化発生 ³)
PS105	カブラハバチの性分化における <i>doublesex</i> 遺伝子の機能解析 ○峰 翔太郎 ¹ ・炭谷 めぐみ ² ・青木 不学 ¹ ・畠山 正統 ² ・鈴木 雅京 ¹ (東大院・新領域 ¹ ・農研機構 ²)
PS106	雄の求愛行動に関わる <i>Doublesex</i> 標的遺伝子の探索 ○服部 美里・青木 不学・鈴木 雅京(東大院・新領域)
PS107	テナガショウジョウバエにおける遺伝子導入法の確立 ○工藤 愛弓 ¹ ・栗崎 健 ² ・石川 幸男 ¹ ・松尾 隆嗣 ¹ (東大院・農 ¹ ・杏林大・医 ²)
PS108	幼若ホルモン合成に関与する新規酵素遺伝子 <i>PTEN-like phosphatase (Plp)</i> の機能解析 ○本間 悠里 ¹ ・桐 浩平 ¹ ・篠田 徹郎 ² ・外川 徹 ¹ (日大文理 ¹ ・農研機構 ²)
PS109	シクロランデュリルプレートに誘引される <i>Anagyrus</i> 属寄生蜂は2種いた ○菅原 有真 ¹ ・上野 高敏 ¹ ・田端 純 ² (九大院・農・生防研 ¹ ・農研機構 ²)

PS110	振動を活用したタバコナジラミの物理的防除効果の検証 ○柳澤 隆平 ¹ ・高梨 琢磨 ² ・諏訪 竜一 ¹ ・立田 晴記 ¹ (琉球大・農 ¹ ・森林総研 ²)
PS111	プロヒドロジャスモン処理がナスの直接防衛と間接防衛に与える影響 ○唐沢 鎌伍・上船 雅義 (名城大農)
PS112	ゼニコケが有するナミハダニの卵に対する発育阻害効果 ○鈴木 麻衣子 ¹ ・上船 雅義 ¹ ・小澤 理香 ² ・松井 健二 ³ ・高林 純示 ² (名城大農 ¹ ・京大生態研 ² ・山口大院創成科学(農) ³)
PS113	ゼニコケの揮発性物質が植食者のパフォーマンスに与える影響 ○鎌井 恵美 ¹ ・片山 裕貴 ¹ ・小池 友恵 ¹ ・鈴木 麻衣子 ¹ ・上船 雅義 ¹ ・小澤 理香 ² ・松井 健二 ³ ・高林 純示 ² (名城大農 ¹ ・京大生態研 ² ・山口大院創成科学(農) ³)
PS114	千葉県銚子市におけるコナガおよびキスジノミハムシの薬剤感受性の解明 ○名雪 将史・清水 敏夫 (千葉県立農業大学校)
PS115	医薬品として有用なアゲハチョウ科昆虫の糞由来化合物の探索 ○中野 美帆 ¹ ・中根 わかな ¹ ・中村 尚 ¹ ・新堰 舜 ¹ ・木下 薫 ² ・岩淵 喜久男 ¹ ・天竺桂 弘子 ¹ (農工大・農 ¹ ・明薬大・薬 ²)

ポスター発表(正会員)

26日 コアタイム:奇数番号 13:00~14:00, 偶数番号 14:00~15:00

PG201	昆虫細胞内に共生する <i>Wolbachia</i> の蛋白質を用いた人為的な哺乳類細胞制御 ○池田 隆 ¹ ・内山 郁夫 ² ・岩崎 未央 ³ ・佐々木 哲彦 ³ ・升井 伸治 ¹ ・沖田 圭介 ¹ (京大・CiRA ¹ ・基生研 ² ・玉川大・ミツバチ科学 ³)
PG202	ヤクシカZOOプロジェクト ~地域における獣害問題と動物園の動物福祉問題をつなぐ新たな実践活動~ ○細谷 忠嗣 ¹ ・伴 和幸 ² ・大淵 希郷 ³ ・田川 哲 ⁴ (九大決断セ ¹ ・大牟田市動物園 ² ・フリー科学コミュ ³ ・元ヤクニク屋 ⁴)
PG203	ベトナムとカンボジアにおける殺虫剤使用とウンカの発生状況 ○松川 みずき ¹ ・田中 利治 ² (国際農研 ¹ ・名大サテライト ²)
PG204	羽音の音響情報解析による昆虫の分類手法の開発 ○川北 哲史 ¹ ・市川 光太郎 ² (農研機構西日本農研 ¹ ・京大フィールド研 ²)
PG205	オオマルハナバチ亜種間の分子系統とトマトへの訪花行動の観察調査 西本 愛・奥山 永・竹内 剛・高橋 純一(京大総合生命)
PG206	2種マメゾウムシ間における非対称クロス交尾行動の解明 ○下村 健司 ¹ ・松井 晋平 ² ・大澤 貴寿 ² ・矢嶋 俊介 ² (東農大 バイオ ²)
PG207	近畿大学奈良キャンパスにおけるマイマイガの低密度時の産卵場所特性 ○澤島 拓夫 ¹ ・石倉 明莉 ¹ ・井上 真紀 ² (近大農 ¹ ・農工大 ²)
PG208	害虫管理を目的としたリアルタイムPCRによるヒメアカカツオブシムシ定性検知法の開発 ○古井 聡 ¹ ・宮ノ下 明大 ¹ ・今村 太郎 ¹ ・峯岸 恭孝 ² ・國谷 亮太 ² (農研機構食品研究部門 ¹ ・(株)ニッポンジーン ²)
PG209	土地利用情報を用いた斑点米被害予測:被害予測モデルとハザードマップの外挿 ○田淵 研 ¹ ・上杉 龍士 ¹ ・高橋 明彦(農研機構東北農研)
PG210	切り枝を用いたクビアカツヤカミキリ成虫の産卵および幼虫飼育方法の検討 ○上地 奈美 ¹ ・三代 浩二 ¹ ・中野 昭雄 ² ・渡邊 崇人 ² (農研機構果樹茶部門 ¹ ・徳島農総技セ ²)
PG211	トビロウカ抵抗性イネを加害するバイオタイプが持つ加害遺伝子の探索 ○小林 徹也 ¹ ・真田 幸代 ² ・松村 正哉 ² (農研機構・生物機能 ¹ ・農研機構・九州農研 ²)
PG212	ヒメカメノコテントウのコマツナ花序に対する選好性 ○釘宮 聡一 ¹ ・下田 武志 ² (農研機構・農環研セ ¹ ・農研機構・中央農研セ ²)
PG213	オス殺し共生細菌スピロプラズマゲノムにおけるプロフェージ領域の解析 ○安佛 尚志 ¹ ・二河 成男 ² ・田中 康次郎 ^{2,4} ・深津 武馬 ² (産総研CBBB-OIL ¹ ・産総研生物プロセス ² ・放送大学 ³ ・フジ環境サービス ⁴)
PG214	カメムシと仲良くなった大腸菌は何が変わったのか? ○古賀 隆一 ¹ ・森山 実 ¹ ・西出 雄大 ² ・小野寺(谷藤)直子 ¹ ・深津 武馬 ¹ (産総研 ¹ ・農研機構 ²)
PG215	なぜ、ヤマタスキラン (<i>Carex angustisquama</i>) は秋田県湯沢市川原毛地獄の噴気孔付近に生息するのか:分布を形づくる要因の推察 ○高柳 春希 ¹ ・酒井 浩 ² ・柿崎 昌博 ² (湯沢市ジオパーク推進協議会 ¹ ・旧須川中学校勤務 ²)
PG216	アオダモを加害するトネリコクロハバチの配偶特性と雄の交尾能力 磯野 昌弘(森林総研・東北)
PG217	ムラサキシジミの新奇な産卵行動について 山本 響 ¹ ・平木 佳奈 ² ・小島 渉 ¹ ・北沢 千里 ³ ・○山中 明 ² (山口大・院創成・生物 ¹ ・山口大・理・生化 ² ・山口大・教育・理科教育 ³)
PG218	ワリクツノハナムグリが産卵時に作る巣の役割 小島 渉(山口大・理)
PG219	RNA-seq解析によるクモヒメバチのクモ網操作の分子機構探索 ○高須賀 圭三 ^{1,2} ・前藤 薫 ² ・河野 暢明 ¹ ・富田 勝 ¹ ・荒川 和晴 ¹ (慶大・先端生命研 ¹ ・神戸大・院・農 ²)
PG220	オスがメスに気づく時:イモゾウムシ体表成分が行動の意志決定に与える影響 伊佐 睦実 ¹ ・熊野 了州 ² ・○立田 晴記 ¹ (琉球大・農 ¹ ・帯広畜産大・環境生態 ²)
PG221	モモフトハムシにおける性選択に対する各脚の特殊化に関わる遺伝子の探索 ○香月 雅子・岡田 泰和(東大・総合文化)
PG222	東南アジアのスダ地域に分布するシリアゲアリ属の一種 <i>C. coriaria</i> の遺伝的多様性と生物地理 ○細石 真吾・緒方 一夫(九大熱研センター)
PG223	キンリョウヘン <i>Cymbidium floribundum</i> にミツバチ関連化合物 10-hydroxyl-2E-decenoic acid (10-HDA) が含まれているのか? 南木 淳志・○中谷 尊史(摂南大薬)
PG224	社会性アブラムシの母性効果を介したカースト制御と季節的多型・密度・日長・温度変化を合図に防衛から繁殖モードにシフトする?! ○松山 茂・柴尾 晴信(筑波大・生命環境)
PG225	岡山市内の公園におけるセミの出現日に影響する環境要因 友岡 岳史・秋山 慶文・惣川 峻・○中村 圭司(岡山理科大・生物地球)
PG226	マメハンミョウ幼虫における餌条件に依存した光周反応の地理的変異 ○寺尾 美里 ¹ ・奥田 恭介 ² ・新谷 喜紀 ³ (南九州大 フィールド ¹ ・CTIAウラ ² ・南九州大 昆虫生態 ³)
PG227	寄生蜂の選択的宿主探索行動を解する宿主由来のカイロモン同定 -ハチは多数派の宿主種の炭化水素カクテルがお好き? - ○柴尾 晴信 ¹ ・石井 弓美子 ² ・松山 茂 ¹ ・嶋田 正和 ³ (筑波大・生命環境 ¹ ・国環研 ² ・東京大・総合文化 ³)
PG228	スズメガ類の天敵寄生蜂スズメヤドリコマユバチの生活史調節機構 ○新谷 喜紀・江口 祐太・北條 恵一・稲永 涼・寺尾 美里・長峯 啓佑(南九州大・昆虫生態)
PG229	メタバールコーディングのデータから外来種と在来種を判別する ○鈴木 紀之 ^{1,2} ・Henrik Krehenwinkel ¹ ・Jeremy Andersen ¹ ・Rosemary Gillespie ¹ (UC Berkeley, USA ¹ ・高知大学・農林海洋 ²)
PG230	チャコウラナメクジは野菜だけでは大きくなれない! ~栄養源が生育に与える影響~ ○萩原 北斗・野村 拓志・浅井 一秀・野崎 耕作・小堀 富広・有吉 立(アース製薬(株))
PG231	ブルーベリーおよび桃の剪定枝水分含量が <i>Ricania shantungensis</i> (Hemiptera: Ricaniidae) 卵の孵化に及ぼす影響 ○金 東煥・梁 昌烈・金 炯桓・徐 美恵・尹 丁梵(国立園芸特作科学園)
PG232	オンバツタは赤色を認識しないから赤い葉を食べないのか 井出 純哉(久留米工大・工・教育)
PG233	群れるバツタは共喰いをどう避けているか? ○前野 浩太郎 ^{1,2} ・Mohamed Abdallahi Ould Babah Ebbe ² (国際農研 ¹ ・モ国バツタ研 ²)
PG234	ダルマシアン除虫菊煙幕を利用したキノコバエ防除技術 ○尹 丁梵・金 炯桓・金 東煥・梁 昌烈・徐 美恵(国立園芸特作科学園)
PG235	土着捕食性天敵メスグロハナレメイバエの発生および捕食特性 ○金 炯桓・金 東煥・梁 昌烈・尹 丁梵・徐 美恵(国立園芸特作科学園)
PG236	スクミンゴガイに食毒性を示す微生物由来タンパク質毒素 中野 友太・仲川 直・石丸 満大・秋山 翔・東 慶直・○武部 聡(近大・生物理工)

PG237	ほ場とその周辺から分離される糸状菌とその昆虫病原性 ○中村 茂雄・山本 理紗子・安江 梓季・小川 和・長谷川 由紀(宮城大食産)
PG238	The management effect of <i>Aphis gossypii</i> by parasitoid, <i>Binodoxys communis</i> (Hymenoptera: Braconidae) ○Park Bueyong・Lee Sang-Ku・Jeon Sung-Wook・Jeong In-Hong・Park Se-Keun (NAS)
PG239	ナス株上における飛ばないナミテントウの移動特性および野生型との交雑頻度 ○徳田 誠 ¹ ・木下 智章 ¹ ・高橋 慎弥 ¹ ・安達 修平 ² ・世古 智一 ³ (佐賀大・農 ¹ ・鹿大院・連合農学 ² ・農研機構・西日本農研 ³)
PG240	カイコガpnd-w1系統を由来とする新規細胞系の樹立 ○渡邊 和代・秋月 岳(農研機構 生物機能利用部門)
PG241	ハダニおよびアブラムシ等の質量分析による種特異的なスペクトルの検出とそれによる分別 ○梶原 英之 ¹ ・村上 理都子 ² ・日本 典秀 ³ ・後藤 哲雄 ⁴ (農研機構・高度解析 ¹ ・農研機構・昆虫制御 ² ・農研機構・中央農研 ³ ・茨城大・農 ⁴)
PG242	UPLC-MS/MSを用いたカメムシ類の幼若ホルモンの構造決定 ○松本 圭司 ¹ ・児玉 彩 ¹ ・小滝 豊美 ² ・品田 哲郎 ¹ ・後藤 慎介 ¹ (大阪市大・院理 ¹ ・農研機構 ²)
PG243	ホソヘリカメムシの武器形質の光周性と時計遺伝子の役割 ○洲崎 雄 ^{1,2} ・後藤 慎介 ¹ (大阪市大・院・理 ¹ ・学振PD ²)
PG244	PCR-RFLP for discrimination between four major <i>Heterodera</i> species in Korea ○Ko Hyoung-Rai ¹ ・Seo Yun-Hee ¹ ・Lee JaeKook ¹ ・Kang Heonil ² (NAS ¹ ・Pusan National University ²)
PG245	ジャガイモシロシストセンチュウのVNTR多型の探索 ○酒井 啓充・串田 篤彦・伊藤 賢治・奈良部 孝(農研機構北海道農研)
PG246	LED光に対するイエバエの誘引行動とERG信号強度の評価 ○徐 微微 ¹ ・川上 雄嗣 ¹ ・久賀 公希 ¹ ・鎌田 隼 ² ・香西 貴典 ¹ ・藤原 健志 ¹ ・鄭 滂 ¹ ・小西 智也 ¹ ・釜野 勝 ¹ (国立高専機構 阿南高専 ¹ ・徳島大院 ²)
PG247	人囮法によるヒトスジシマカ成虫の飛来時間 ○木村 悟朗 ^{1,2} ・倉西 良一 ³ (イカリ消毒株式会社 ¹ ・千葉県立中央博物館共同研究員 ² ・千葉県立中央博物館 ³)
PG248	コナガの薬剤感受性試験の文献の活用ー試験・データ公表・文献解析の仕方 上杉 龍士(農研機構・東北農研)
PG249	RNA-seqによるチャノコカクモンハキにおけるジアミド系殺虫剤抵抗性原因候補遺伝子の探索 ○横井 翔 ¹ ・上柴 明也 ¹ ・浅野 美和 ¹ ・内山 徹 ² ・小澤 朗人 ² ・篠田 徹郎 ¹ (農研機構 生物機能利用研究部門 ¹ ・静岡県農林技術研究所茶業研究センター ²)
PG250	エタノール vs プロピレングリコールー昆虫DNAの保存・抽出に適するのはどちら？ー ○中村 祥子 ¹ ・田村 繁明 ² ・加賀屋 悦子 ¹ (森林総研 ¹ ・東京大学 ²)
PG251	ツヤケシオオゴミシダマンの成虫の左右非対称な大顎形成におけるPairedの機能 ○梶 浩平・外川 徹(日大文理)
PG252	ミカンコバエの飛来による再侵入リスク評価と鹿児島県での再侵入要因解析 ○大塚 彰 ¹ ・松村 正哉 ² (革新工学セ ¹ ・九沖農研 ²)
PG253	LED光源を利用した予察灯の水稲害虫に対する誘引性能の評価 ○小野 亨 ¹ ・加進 文二 ² ・横堀 亜弥 ¹ (宮城古川農試 ¹ ・宮城防除所 ²)
PG254	画像解析技術を利用して斑点米カメムシを自動でモニタリングするフェロモントラップの試作 ○岩田 大介 ¹ ・小林 豊 ² ・石本 万寿広 ¹ (新潟農総研作物研 ¹ ・新潟工技総研中越 ²)
PG255	アカスジカスミカメ用フェロモン剤の誘引性の製品間比較 ○高橋 明彦 ¹ ・青木 由美 ² ・石本 万寿広 ³ ・永峯 淳一 ⁴ ・新山 徳光 ⁵ ・奥谷 恭代 ⁶ ・小野 亨 ⁷ ・重久 眞至 ⁸ (農研機構東北 ¹ ・富山農総技セ ² ・新潟農総研・作物研 ³ ・山形農総セ ⁴ ・秋田農試 ⁵ ・鳥取農試 ⁶ ・宮城古川農試 ⁷ ・滋賀農試セ ⁸)
PG256	ツルマメ摂食性チョウ目昆虫の3種類の殺虫性毒素タンパク質への感受性調査 ○宮本 和久 ¹ ・杉本 貴史 ¹ ・菊地 淳志 ² ・木原 眞実 ¹ ・和田 早苗 ¹ ・渡部 賢司 ¹ (農研機構 生物研 ¹ ・農研機構 西日本農研セ ²)
PG257	<i>Acrostichus</i> sp. isolated from a termitophilic beetle, <i>Ziaelas formosanus</i> ○Kanzaki Natsumi ¹ ・Wei-Ren Liang ² ・Chen-I Chiu ² ・Hou-Feng Li ² (Kansai Res. Ctr., FFPRI ¹ ・National Chung Hsing Univ. ²)
PG258	いつ硬くなるのか？-トゲオオハリアリ(<i>Diacamma</i> sp.)の羽化直前に起こる亜鉛(Zn)の蓄積- ○中村 ちひろ ¹ ・横山 政昭 ¹ ・藤岡 春菜 ² ・岡田 泰和 ² (堀場テクノサービス 分析技術センター ¹ ・東京大学大学院 総合文化研究科 広域システム科学系 ²)
PG259	ミトコンドリアDNAによる日本および英国に侵入したツマアカスズメバチの侵入起源の推定 ○奥山 永 ¹ ・竹内 剛 ¹ ・S.J. Martin ² ・高橋 純一 ¹ (京産大総合生命 ¹ ・サルフード大 ²)
PG260	ハダニ類の分子同定に有効に利用できる遺伝子のRNA-seqを用いた探索 坂本 洋典 ¹ ・松田 朋子 ² ・粥川 琢巳 ³ ・古崎 利紀 ⁴ ・○後藤 哲雄 ⁴ (早稲田大・理工 ¹ ・日本バイオデータ ² ・農研機構 ³ ・茨城大・農 ⁴)
PG261	障壁栽培およびリビングマルチがアワ圃場の節足動物相に及ぼす影響 ○村田 浩平・福村 拓哉・古賀 存・松浦 朝奈(東海大・農)
PG262	光の照射方向がハスモンヨトウの防除に有効な範囲に及ぼす影響 ○西濱 健太郎・石倉 聡・星野 滋(広島総研農技セ)
PG263	青色光のナガマドキノコバエに対する殺虫効果 大橋 章博(岐阜県森林研)
PG264	スズメバチ類被害の新たな予防法ー新規忌避・攻撃行動抑制剤の開発ー 金 哲史 ^{1,2} ・○中島 修平 ¹ ・市川 俊英 ¹ (株式会社KINP ¹ ・高知大農 ²)